

参考資料

鹿児島労働局
令和6年8月9日

2023年10月以降の消費者物価指数の対前年上昇率の推移

○ 消費者物価指数の対前年上昇率について、鹿児島市では2023年10月～2024年6月の平均が2.6%となっており、全国およびCランク平均の上昇率に比べ小さくなっている。

単位：%

	2023年			2024年						2023年10月～ 2024年6月 平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
全国	3.9	3.3	3.0	2.5	3.3	3.1	2.9	3.3	3.3	3.2
Cランク	4.0	3.6	3.4	3.0	3.8	3.5	3.2	3.4	3.4	3.5
鹿児島市	2.9	2.3	1.9	1.4	3.0	2.7	2.7	3.3	3.3	2.6

資料出所 総務省「消費者物価指数」

- (注) 1 指数は、「持家の帰属家賃を除く総合」を用いた。
 2 Cランクの数値は都道府県の県庁所在地における指数を単純平均し、その対前年上昇率を算出したものである。
 3 2023年10月～2024年6月平均は各月の上昇率を単純平均したもの。

Cランク各都市の品目別物価上昇率の比較

- 鹿児島市の物価上昇率は食料、被服及び履物、保健医療等で物価上昇率が抑えられているほか、光熱・水道のマイナスが大きいこともあり全体として他の都市に比べ物価上昇率が小さい。
- 一方で、生活必需品でもある生鮮食品をみると秋田市について2番目に大きな伸びとなっているほか、交通・通信(ガソリン等の自動車整備費を含む分類)でも2番目に大きな伸びとなっている。

単位：%

	青森	盛岡	秋田	山形	鳥取	高知	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	那覇
持家の帰属家賃を除く総合	3.7	3.9	3.8	4.1	3.0	4.0	3.7	3.4	3.0	2.9	3.5	2.6	3.8
食料	5.6	5.9	6.7	5.9	5.1	5.9	6.0	5.4	5.3	4.8	5.9	4.9	5.9
生鮮食品	9.1	7.2	12.6	11.2	8.0	8.5	7.8	7.2	10.8	7.3	7.5	12.3	4.9
光熱・水道	0.2	▲1.3	▲1.9	▲0.3	▲7.5	3.7	▲2.7	▲3.9	▲2.5	▲3.0	▲3.1	▲4.6	0.9
被服及び履物	2.5	4.1	3.7	3.6	2.4	2.7	4.0	2.5	1.5	1.5	3.4	1.3	3.6
保健医療	2.3	2.0	1.7	3.0	2.1	3.1	1.4	2.1	1.1	1.5	2.6	0.8	1.6
交通・通信	2.8	1.8	2.8	2.8	2.9	1.9	2.5	2.8	3.0	2.7	2.8	3.0	3.4

資料出所 総務省「消費者物価指数」

(注)1 2023年10月～2024年6月平均を各品目・各都市ごとに比較したもの。

消費者物価指数(「頻繁に購入する品目」)の対前年上昇率の推移

- 消費者物価指数は、指数品目を家計調査から得られる1世帯当たり年間購入頻度によって区分し、購入頻度の階級区分別に指数を作成している。
- 購入頻度階級のうち、「頻繁に購入する品目」については、年間購入頻度15.0回以上の品目である。

(単位：%)

	2023年			2024年						2023年10月～ 2024年6月 平均	2022年10月～ 2023年6月 平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
頻繁に購入	8.3	6.4	6.6	5.6	4.8	4.8	4.5	4.0	3.5	5.4	4.8

【参考】「頻繁に購入する品目」の構成

食パン	鶏卵	せんべい
あんパン	キャベツ	ポテトチップス
カレーパン	ねぎ	チョコレート
ゆでうどん	レタス	アイスクリーム
カップ麺	もやし	おにぎり
中華麺	にんじん	調理パン
かまぼこ	たまねぎ	サラダ
豚肉(国産品)	きゅうり	茶飲料
豚肉(輸入品)	トマト	コーヒー飲料A
鶏肉	ピーマン	野菜ジュース
ハム	しめじ	炭酸飲料
ソーセージ	豆腐	ポリ袋
牛乳	油揚げ	診療代
ヨーグルト	納豆	ガソリン
チーズ(国産品)	バナナ	

鹿児島市における「頻繁に購入する品目」の物価上昇率の推計値 (中賃における方法に準じて取得可能なデータを用いて推計したもの)

- 中賃の方法に準じて「頻繁に購入する品目」として12種類を選び出し、物価上昇率をみると、2023年10月～2024年6月平均で5.4%(推計値)となっている。
- ただし、12種類のうち、光熱・水道については経済産業省が実施するエネルギー価格の負担軽減策の影響でマイナスとなっているため、これを毎月2.3%(政策効果が小さい2024年6月における過去3か年の上昇率の幾何平均)と仮定した場合、物価上昇率は6.0%(推計値)となる。
- また、光熱・水道については施策の効果によりデータが安定しないこと、中賃の「頻繁に購入する品目」にも入っていないことを考慮して、これを除いた11種類で物価上昇率をみると6.5%(推計値)となる。

単位:%

	2023年			2024年						2023年10月～ 2024年6月 平均
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
12種類	6.3	5.1	3.6	3.5	5.4	6.4	6.2	6.0	6.1	5.4
光熱・水道 を毎月2.3% と仮定	7.6	6.4	4.9	4.9	5.7	6.7	6.6	5.6	5.3	6.0
11種類	8.1	6.8	5.2	5.1	6.1	7.1	6.9	5.9	5.6	6.5

資料出所 総務省「消費者物価指数」

(注) 中賃が用いた個々の品目のデータは全国値のみであったため、データの存在する大・中分類から、家計調査において低所得であっても支出を相対的に多く行っている以下の12種類の分類を選び出した。

穀類、魚介類、乳卵類、野菜・海藻、果物、油脂・調味料、調理用品、飲料、光熱・水道、家庭用耐久財、医薬品等、書籍・他の印刷物

連合 春季賃上げ妥結状況

- 連合鹿児島県の春季賃上げ妥結状況の集計によると2024年の賃上げ額は前年より3,468円大きくなり、賃上げ率も4.88%と高く、前年より1.37ポイント増加している。
- 企業規模でみると300人未満でも賃上げ率(加重平均)が4.95%と高くなっており、300人以上企業を上回っている。

※ 前年との比較

2024年回答(7月30日時点)			2023年回答(最終)		
組合数 人数	定昇相当分込 賃上げ額(円)	定昇相当分込 賃上げ率(%)	組合数 人数	定昇相当分込 賃上げ額(円)	定昇相当分込 賃上げ率(%)
51	11,879	4.88	60	8,411	3.51
13,134			15,488		

※ 企業規模別

	組合数 人数	加重平均		単純平均	
		定昇相当分込 賃上げ額(円)	定昇相当分込 賃上げ率(%)	定昇相当分込 賃上げ額(円)	定昇相当分込 賃上げ率(%)
300人未満	29	11,701	4.95	10,606	4.50
	2,955				
300人以上	22	11,930	4.86	12,950	5.04
	10,179				

資料出所 第2回鹿児島県最低賃金専門部会 労働者委員資料

(注)2024年回答と2023年回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできないことに注意を要する。

賃金改定調査結果第4表（Cランクのデータのみ）

○ 令和5年6月と令和6年6月の両方に在籍した労働者のみを対象にした集計をみると、Cランクの賃上げ率は3.1%であり、前年より0.4ポイント増加している。

※男女別賃上げ率

	令和6年6月	令和5年6月
合計	2.7	2.1
男	3.0	1.6
女	2.6	2.3

※就業形態別賃上げ率

	令和6年6月	令和5年6月
合計	2.7	2.1
一般	3.0	1.9
パート	2.2	2.5

※男女別・就業形態別（令和5年6月と令和6年6月の両方に在籍した労働者のみを対象にした集計）賃上げ率

	令和6年6月	令和5年6月
合計	3.1	2.7
男	3.1	2.5
女	3.1	2.8
一般	3.4	2.7
パート	2.4	2.7

鹿児島県内企業の業況D. I. の推移

○ 県内企業の業況について、2024年4～6月期は、物価高や人手不足の影響等により前期と比較してほぼすべての産業で悪化している。

	2023年				2024年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月 (見通し)
全産業	▲ 6	▲ 12	▲ 12	▲ 14	▲ 10	▲ 14	▲ 11
製造業	▲ 21	▲ 27	▲ 21	▲ 18	▲ 23	▲ 30	▲ 20
建設業	▲ 2	▲ 14	▲ 25	▲ 27	▲ 7	▲ 9	▲ 4
卸売業	3	0	0	▲ 14	▲ 6	▲ 19	▲ 4
小売業	▲ 11	▲ 2	▲ 6	▲ 21	▲ 9	▲ 12	▲ 13
その他	6	▲ 7	▲ 3	▲ 4	▲ 2	1	▲ 8

資料出所 鹿児島銀行、九州経済研究所「第176回県内企業・業況調査結果」

(注)D. I. =「良い」-「悪い」である。

鹿児島県における雇用失業情勢①

- 県内の労働力人口比率は60%前後でほぼ横ばいの状況が続いている。
- 完全失業率についても対前年同期比でそれほど変化がなくほぼ横ばいの状況である。

※ 鹿児島県における労働力人口比率と完全失業率の推移

	2023年				2024年
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
労働力人口比率	58.9	59.6	59.9	59.2	60.1
(対前年同期比)	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.3	0.5	1.3
完全失業率	1.8	2.2	2.5	2.4	2.0
(対前年同期比)	0.0	▲ 0.2	0.1	0.0	0.2

資料出所 鹿児島県HP

鹿児島県における雇用失業情勢②

○ 鹿児島県の有効求人倍率は福岡、沖縄を除き最も低い数値で推移しているものの1倍を上回っており、人手不足の状況となっている。

※ 九州各県における有効求人倍率(季節調整値)の推移

	2021年	2022年	2023年	2024年					
				1月	2月	3月	4月	5月	6月
福岡	0.98	1.09	1.16	1.15	1.13	1.14	1.12	1.09	1.05
佐賀	1.36	1.54	1.56	1.50	1.52	1.53	1.49	1.48	1.46
長崎	1.17	1.32	1.38	1.35	1.36	1.35	1.37	1.38	1.35
熊本	1.42	1.55	1.48	1.43	1.39	1.40	1.40	1.36	1.39
大分	1.25	1.47	1.57	1.59	1.55	1.51	1.48	1.46	1.47
宮崎	1.40	1.54	1.48	1.43	1.41	1.41	1.42	1.41	1.38
鹿児島	1.31	1.43	1.32	1.28	1.30	1.29	1.31	1.27	1.25
沖縄	0.80	0.98	1.16	1.14	1.16	1.16	1.14	1.10	1.07

資料出所 厚生労働省 一般職業紹介状況

(注) 求人数を実際に就業する都道府県に計上して算出した、就業地別有効求人倍率である。